



**MORIOKA**  
ROTARY CLUB WEEKLY

第11回例会(9月28日)  
平成30年10月5日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10 会 長 坂本広行  
川徳デパート内 幹 事 藤村吉隆  
例 会 場 同上 TEL 019 (651) 1111(代) 会 報 吉田幸一  
例 会 日 毎週金曜日12時30分～ クラブ事務局 TEL 019 (653) 5682  
http://www.morioka-rc.jp/ FAX 019 (653) 5622

RI会長テーマ BE THE INSPIRATION:インスピレーションになろう…バリー・ラシン  
盛岡RC会長テーマ -80年の歴史と伝統、繋いでいこう奉仕と友情-坂本広行



新入会員卓話

## NHK盛岡放送局の80年

大久保 嘉二 君

盛岡ロータリークラブは、来年80周年を迎えられるということで、たいへんおめでとうございます。実はNHK盛岡放送局も、今年開局80年を迎えました。まさに盛岡ロータリークラブとともに歩んできたと言っても過言ではありません。NHK盛岡放送局のこれまでを振り返り、今後についてお話をさせていただきます。

### 【NHK盛岡放送局開局80年】

NHK盛岡放送局が開局したのは昭和13年8月7日。当時ですからテレビはなく、ラジオ放送局として開局しました。コールサインはJ O Q G。東北では仙台、秋田、山形、弘前に次ぐ5番目の開局でした。開局当時の局舎の写真が残されています。当初から今の上田の地に局舎がありました。戦後人気を集めたラジオドラマがあります。「伸びゆく若葉」というラジオドラマですが、覚えていらっしゃる方はいますでしょうか？

当時、放送は全てナマ。予算の節約のため出演者は、局近くの久保学園・今の盛岡誠桜高校の生徒や先生、岩手大学の学生を集めたということです。当初は職員が脚本を書いた若者向けのホームドラマでしたが、佐藤竜太さんという作家に頼んで、農家の家庭を舞台にした方言ドラマに切り替えたところ大人気となり、聴取率が50%を超えた

という記録が残っています。昭和37年まで12年間続いたそうです。昭和33年にはテレビ放送が始まり、39年東京オリンピックの直前にカラー放送が始まっています。

局舎は一貫して、ほぼ今の場所にありましたが、記録に残る限り2回建て替えています。今の建物は昭和48年から使っていますので、かなり老朽化が進み、手狭な感じですが、今の放送会館、去年盛岡ロータリーのみなさまにもご覧いただいたと聞いていますが、1階に「おでんせプラザ」というスペースがありまして、4Kや8Kの映像を上映する、小規模なシアターを開いています。平日日中は一般に公開していますので、時間つぶしなどにご利用いただければと思います。今年6月、サッカーW杯の日本コロンビア戦の8K中継を公開しました。今の2Kも、以前に比べれば相当きれいですが、8Kはさらに美しいです。局長室は2階にあります。お茶くらいはお出しできますので、お越しになったときは声をかけていただければと思います。

### 【80年間のさまざまなニュース】

この80年間、さまざまな大ニュースがありました。その都度、NHKもさまざまな角度から報道をしてきました。昭和35年のチリ地震津波では、

岩手県で、大船渡を中心に死者行方不明者あわせて62人に上りました。全国では142人となっています。当時はテレビ放送が始まっていましたが、盛岡局では朝の放送開始前に津波の襲来をつかみ、速報を出すとともに現地に取材班を送り、取材にあたったということです。

昭和46年の雫石航空機事故は162人が死亡し、日本航空のジャンボ機の事故が起きるまで国内最悪の飛行機事故でした。しかも民間の飛行機と訓練飛行中の自衛隊機が空中で衝突するというたいへんな事故です。自衛隊機のパイロット2人はパラシュートで脱出しましたが、その後逮捕、起訴されました。教官だったパイロット1名に禁固3年執行猶予3年の有罪判決が確定しています。

昭和57年には東北新幹線が盛岡まで開業。これは盛岡の街にとっては大きな出来事だったのではないかと思います。

そして何と言っても東日本大震災です。東日本大震災の教訓と課題を伝え続けることは、この7年間、盛岡放送局の最大の課題でした。今後もそうあり続けると思います。日々のニュースのほか、3月11日、月命日などの節目、機会をとらえて、さまざまな番組を制作、放送してきました。NHKの看板番組、NHKスペシャルでも、毎年、盛岡放送局のディレクターや記者が制作に携わった番組が放送されています。

このうち震災の翌年、2012年3月に放送された「38分間 巨大津波 いのちの記録」は、先ほども申し上げた、釜石支局の記者が撮影した38分間の映像をもとに、津波が押し寄せる前から街並み全体が津波に飲み込まれるまでの状況を検証した番組です。テレビ業界では大変な名誉である、放送文化基金賞のテレビドキュメンタリー部門本賞を受賞しています。

#### 【岩手を舞台にしたドラマ】

ここまでは報道の話でしたが、それだけではありません。これは直接盛岡放送局が制作したというわけではありませんが、NHKでは岩手を舞台

にしたドラマを数多く放送してきました。ここには大河ドラマを2本、朝の連続テレビ小説を2本挙げています。

まず「炎立つ」。高橋克彦さんの原作をもとに、平成5年7月～翌年の3月までという、ほかの大河ドラマとは異なる変則的な形で放送されています。1月から6月までは、「琉球の風」を放送しました。平成5年は国連が定めた国際先住民年で、それにあわせて沖縄と蝦夷が取り上げられた形です。渡辺謙さんが藤原経清と泰衡のふた役。妻で清衡の母となる結有を、古手川祐子さんが演じました。平均視聴率（関東地方）は17.7%でした。

平成17年に放送した「義経」は、先日引退を発表したタッキーこと滝沢秀明さんが主演しました。ドラマの一部が平泉を舞台にしていました。平均19.5%でした。「義経」と言えば、昭和41年の「源義経」もありました。尾上菊五郎さんが義経を演じたドラマで、これも平泉が描かれていますが、ロケがどう行われたか、記録が残っていません。

連続テレビ小説の「どんど晴れ」は、平成19年4月からの前期。76作目の連ドラです。主演は比嘉愛未さん。脚本は小松江里子さん。小松さんはその後大河ドラマの「天地人」も書いています。恋人の実家である盛岡の老舗旅館で、女将修行をする女性・夏美が主人公。小岩井農場の一本桜とかさんさのパレードとか、盛岡の周辺でロケが行われました。19.4%です。

そして「あまちゃん」です。もう5年前になるんですね。平成25年の前期です。宮藤官九郎さんの脚本で主演は能年玲奈さん。今はのんさん。祖母に憧れて海女を始めた主人公アキが、アイドルを目指して上京するも挫折するうちに震災が発生。地元に戻り町の復興を目指す物語。20.6%でした。

#### 【NHK盛岡放送局の取り組み】

ここからは今のNHK盛岡放送局の取り組みをご紹介します。

まず、夕方18時10分から放送している県内向けのニュース番組「おぼんですいわて」です。その日のニュースのほか、日替わりのコーナーがあります。月曜日はスポーツ、水曜日は生中継といった具合です。

不定期のコーナーとして「好きなんですいわて」というコーナーがあります。ニュースで取材に行ったときに、相手に岩手の好きなところを自由に語ってもらうというコーナーです。最近ではミスさんさのみなさんや、元ジャイアンツの中畑さんと篠塚さんにも登場いただきました。中畑さんと篠塚さんは田老で開かれた野球教室でお願いしました。

また、ほぼ毎日放送している「はっぴーニュース」という、視聴者からの投稿を受け付けるコーナーもあります。かかし祭りでチョコちゃんのかかしを見つけましたとか、とぐろを巻いた変わったナスを見つけましたとか、いろんなことで幸せを見つけていただいています。ちょっとニコニコBOXに似ていますね。

県域の番組としては、原則として毎月第2金曜日に「再発見いわて」という番組を放送しています。昨年度から立ち上げた番組ですが、今年度は本数を増やして、年間10本程度を計画しています。このうち6月8日に放送した「岩手山 みちのく南部片富士」は、岩手県で15.7%という高い視聴率を獲得しました。ちょうど7月1日の山開き前の放送ということもありましたが、地元の人たちの岩手山に対する愛を感じました。これまで放送した5本の番組はどれも視聴率が10%を超えています。

岩手県域向けのラジオ番組も放送しています。月曜日から金曜日までの平日17時から1時間放送している「まじえ5時」です。この番組は、東日本大震災の時、情報を得る手段としてラジオが有効だったことから、ローカルのラジオ放送を充実させていきたいと、私の3代前の道協局長が始めた番組です。地元の各界で活躍する方たちをゲストに呼び、そのお話と、リスナーからのお便り・

リクエストなどで構成されています。

おととしの台風10号の災害の時は、この番組で1週間ほど毎日地元の情報を伝えたということです。

#### 【公共放送から“公共メディア”へ】

最後にNHKが全体としていま何を目標しているのかという話をさせていただきます。「公共メディア」という言葉をお聞きになったことはありますか？NHKは今年度から始まった新しい経営計画の中で、「公共放送」から「公共メディア」への進化を目指すとしています。いま若い世代を中心にテレビを持たない人が増える一方で、スマートフォンが急速に普及しています。NHKが、社会の人たちが命や暮らしを守るために必要な情報、あるいは社会の人たちのさまざまな選択に資する情報を提供していくためには、放送を太い幹としつつ、インターネットを活用するなどして、多様な伝送路で情報を届けていく必要があると考え、様々な取り組みをしています。

まずWEBやSNSでの情報発信です。私が携わっていた報道の分野では「NEWSWEB」というページがあります。この春から「NHK政治マガジン」を週1回掲載しています。週刊誌の中張り広告のようなメニューを作っていて、放送で紹介できなかった内容を含めて掲載しています。自民党総裁選を前に、石破さんの単独インタも、放送では一部しか使えなかったものを読み物として提供していました。360度の映像を記録するカメラを使って、バーチャルリアリティーで、その



場にいるような体感ができる「田老の記憶」という震災のアーカイブもあります。

SNSではNHK広報局のツイッター、盛岡放送局のツイッターのほか、LINEにニュースを提供しています。「友達に追加」をすると、平日の昼過ぎと夕方の1日2回、注目のニュースが数本配信されます。

スマホのアプリも「ニュース防災アプリは注目の記者会見の同時提供もありますし、結構便利だと思います。ラジオは「らじるらじる」はNHKですが、民放がやっている「ラジコ」にも参加しています。ただ東北地方は仙台放送局の放送なので、まじえ5時は聞けないとか、課題もあります。NHKスクープBOXは、視聴者からの動画の投稿を受け付けるアプリです。日常生活の中で、例えば大きな火事や事故の現場にたまたま出くわしたとか、ひょうが降ってきたとか、そういう場合は身の安全を確保したうえで、スマホで映像を撮影していただいて、このアプリでNHKに送っていただければ幸いです。よろしくお願ひします。

【SHV本放送開始へ】

最後に改めてスーパーハイビジョンのご紹介をさせていただきます。今年12月1日から、BSで

スーパーハイビジョンの本放送が始まります。12月1日には南極からの4K生中継があるということです。また8Kでは、ウーンフィル、ベルリンフィル、ロイヤルコンサートヘボウのコンサートを、地元のホールで収録したソフトなどが準備されています。10月末には、さらに詳しい番組表が公開されるということです。

スーパーハイビジョンは、今の2Kに比べて、画素数が4Kは8倍、8Kは16倍です。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、さらに素晴らしいソフトを準備していく予定です。

ただ、受信するには4K8K対応テレビだけではだめで、これから売り出されるチューナーが必要になります。4Kについては、チューナー内蔵テレビが売り出されているようです。8Kは、対応のパラボラアンテナが必要になる場合があります。4K・8Kともご興味があれば、先ほど申し上げた盛岡放送局1階の「おでんせプラザ」に見に来ていただければと思います。

NHK盛岡放送局はこれからも岩手の皆さんとともに、地元密着で放送を出し続けますので、よろしくお願ひいたします。

例会報告

第11回例会  
平成30年9月28日(金)

- 12時30分 開会点鐘
- ・司会 坂本広行会長
- ・ロータリーソング  
(手に手つないで)
- ・会長報告 坂本広行会長

- ・幹事報告 藤村吉隆幹事
- ・委員会報告

出席報告

会員数/76名

出席数/41名

出席率/56.94%

前々回/休会



プログラムのお知らせ

- ・10月5日(金) 会員卓話 下道利幸会員「ロータリー 徒然なるままに」
- 12日(金) 第2回クラブアッセンブリー
- 18日(休) 秋の懇親会(19日例会変更)
- 26日(金) 田中堯史ガバナー公式訪問
- ・11月2日(金) 卓話
- 9日(金) 卓話

●本号編集担当/千崎 和夫